

事業仕分けにおける委員・アドバイザー個別意見

1 多屋線道路改良事業（多屋線道路改良事業）

【結果】改善（凍結）

廃止 1、改善 5、継続 1

- ・ カインズ・市役所間、カインズ・セントレア間の車の流れをスムーズにされたい。
- ・ 財政が健全化するまで事業を凍結されたい（6件）。
- ・ いま、起債を増やすことは避けられたい。
- ・ 多屋地区の住民に、市の厳しい財政状況を理解してもらうことが重要である。
- ・ 渋滞と言っても土・日曜日が中心であり、すぐに実施する事業であるとは感じない。

2-1 公共下水道事業（公共下水道汚水処理事業）

【結果】改善

廃止 3、改善 4

- ・ 事業を続けるほど借金が膨らむので、これ以上の事業は実施止めるべきである。
- ・ 浄化槽方式も検討すべきである（3件）。
- ・ 下水道に接続していない家庭に課税し、接続している家庭を免除する仕組みを導入されたい。
- ・ 浄化槽への転換を検討し、可能ならば事業を凍結し、不可能ならば事業の実施スピードを落とすようにされたい。
- ・ 財政が健全化するまでは事業を凍結されたい（2件）。

2-2 公共下水道事業（公共下水道雨水処理事業）

【結果】改善

改善 7

- ・ 防災の観点から緊急度が高い地域について財政部局がチェックし、そのエリア以外は事業を凍結する。
- ・ 事業の実施スピードを落とすようにされたい。
- ・ 雨水事業を最優先とし、事業を見直されたい。
- ・ 予算を削減されたい。
- ・ 優先順位を決め、浸水被害が生じないよう工事を進められたい。
- ・ 全体として、事業の実施スピードを落とすようにされたい。
- ・ 他の方法があるならば、廃止を検討されたい。
- ・ 財政が健全化するまで延期されたい。
- ・ 防災の観点から汚水処理より相対的に優先するが、一般会計の負担を最小限にされたい。

3 常滑駅周辺土地区画整理事業（常滑駅周辺土地区画整理事業）

【結果】改善

廃止1、改善6

- ・ やきもの散歩道とのつながりや人の賑わいを意識し、収益が上がる事業計画とされたい。
- ・ 現状は、ロータリーだけがあれば市民の理解は得られると考える（2件）。
- ・ 事業費の削減が必要である。
- ・ ビル群によって、やきもの散歩道等の風景をふさぐような事業計画は避けられたい。
- ・ 東側は、開けた風景でも良い。
- ・ 事業の見直しが必要だと考える。
- ・ 古いまちなみを残したまちづくりができないのか。
- ・ 60億円の巨費を投じる市の顔となる事業であるが、そのコンセプトが市民の立場から理解できない。
- ・ 観光立市など、市の今後を展望し、市民が一丸となって取組むことができる事業とし、一から出直すべきである。
- ・ 全体事業費が大き過ぎるので、当面は凍結すべきである（2件）。
- ・ 財政の健全化を待って再開すべきである（3件）。
- ・ 土地区画整理以外の方式で実施できないのか。

4 交通指導員（交通指導員配置事業）

【結果】改善

廃止3、改善4

- ・ 教員、老人クラブや各種団体等の協力により、市交通安全推進協議会の組織を再編し、事業実施できるのではないかと。
- ・ ボランティア育成講座等を開催されたい。
- ・ 警察等との協力関係を強化し、専門性の確保に努めるとともに、ボランティア団体等に事業を委ねられたい。
- ・ 組織間の連携体制づくりこそ行政の役割である。
- ・ 地域のコミュニティとの関わりが強化できるよう改善されたい。
- ・ 平成21年度から22年度にかけて、予算を増額したことの理由が明確になっていない。
- ・ 交通指導員の自給を20%削減されたい。
- ・ 時給に妥当性がない（2件）。
- ・ 勤務時間に妥当性がない。
- ・ ボランティアスタッフ全員を一目で分かるような服装に統一すれば、交通安全に対する意識が高まる。それと同時に人件費を抑制する。

- ・ ボランティアや教員の協力を得られるよう努力できないか。

5-1 家庭ごみ（家庭ごみ収集運搬事業）

5-2 家庭ごみ（家庭ごみ減量化推進事業）

5-3 家庭ごみ（家庭ごみ資源化事業）

5-4 家庭ごみ（家庭ごみ処理事業）

【結果】改善

改善 7

- ・ ごみ袋代を値上げする。
- ・ 持ち込み、粗大ごみを事業系ごみと同様に有料化する。
- ・ プラ容器の処分に係る費用を比較検討する。
- ・ 粗大ごみ（自転車、冷蔵庫、エアコン、テレビ等）は、空き地で行われている無料回収を利用する（合法か否かは要調査）。
- ・ 出雲市等の先進自治体に学び、ごみの有料化等に取り組まれない。
- ・ 紙（段ボール）のリサイクル料をトン当たり2.5円に戻す。
- ・ クリーンセンター常武の処理費を勘案し、金額（ごみ袋代）を値上げする。
- ・ 学校で、ごみの分別・出し方等の意識付けや教育を地道に展開する。
- ・ このまま推移すればごみの有料化を避けられないというアナウンスを実施し、危機意識を喚起する。
- ・ ごみのリサイクルは環境に優しいが、一方で多額の費用がかかることを考慮し施策を考える必要がある。
- ・ ごみ減量化のPRを分かりやすく実施する必要がある。
- ・ ごみの分別・リサイクルは、コストを含めて再考されたい。
- ・ 担当課から、卵1個分のごみ減量化の説明があったが、それでは市民の行動につながらない。もっと具体的な行動への戦略を示されたい。
- ・ ごみの分別の在り方を検討されたい。
- ・ 知多5市4町と今後調整されたい。
- ・ 市はコストに対する認識が不足しているので、市民にも伝わらない。

6-1 陶業・陶芸関係施設（陶業試作訓練所管理運営事業）

【結果】改善

廃止3、民営化等1、改善3

- ・ 施設を統合して合理化を図り、費用負担を軽減されたい。
- ・ 環境経済部と教育委員会の施設を統合して事業を実施されたい。
- ・ 環境経済部と教育委員会の垣根を越えて検討すべきである。
- ・ 旧常滑高等学校へ移転されたい。
- ・ 陶芸研究所と統合されたい（3件）。
- ・ 陶業試作訓練所、陶芸研究所、民俗資料館の一括管理を検討されたい。

- ・ 早急に廃止されたい。

6-2 陶業・陶芸関係施設（陶芸研究所管理運営事業）

【結果】改善

民営化等2、改善5

- ・ 陶芸研究所、陶業試作訓練所、民俗資料館の3施設を統合されたい。
- ・ 陶芸研究所と陶業試作訓練所を統合して、費用負担を軽減されたい。
- ・ 陶芸研究所と民俗資料館を統合されたい。
- ・ 陶芸研究所、陶業試作訓練所、民俗資料館の3施設を一括管理されたい。
- ・ 旧常滑高等学校に機能移転されたい。
- ・ 施設の設置目的が展示なのか学習なのかはっきりしない。それによって、余分な人件費を要している。
- ・ 環境経済部と教育委員会の垣根を越えて検討すべきである。

6-3 陶業・陶芸関係施設（民俗資料館管理運営事業）

【結果】改善

廃止2、民営化等2、改善3

- ・ 民俗資料館と陶芸研究所を統合されたい（3件）。
- ・ 旧常滑高等学校に機能移転されたい。
- ・ 環境経済部と教育委員会の垣根を越えて検討すべきである。
- ・ 陶芸研究所、陶業試作訓練所、民俗資料館の3施設を一括管理されたい。
- ・ 100円でも入場料を徴収してサービスの向上を図られたい。

7-1 商工振興施設（商工会館管理運営事業）

【結果】改善

廃止2、民営化等1、改善3、その他1

- ・ 商工会議所に無償譲渡し、市と切り離されたい。
- ・ 管理の問題などが分かりにくい。市の施設であれば、賃貸するのが普通ではないか。
- ・ 公共性が低い施設ではないか。
- ・ 法律にのっとり商工会議所に売却して、利用している団体からわずかでも地代や家賃を受け取るべきである。
- ・ 『公の施設』ではない。
- ・ 原点にかえて問題を解決されたい。
- ・ 法的な問題を解決し、土地や建物を無償譲渡されたい。

7-2 商工振興施設（陶磁器会館管理運営事業）

【結果】民営化

廃止 1、民営化等 3、改善 2、継続 1

- ・ 利用団体に売却し、当該団体が収益を上げて、焼物産業の振興を図る方向に転換されたい。
- ・ 観光を目的として民営化し、好立地を活かした運用を望む。
- ・ 収益施設に特化し、市は手を離す。
- ・ 観光協会常滑支部へ移管してはどうか。
- ・ 陶業の振興につながる活用をされたい。
- ・ 法的問題を解決されたい。
- ・ 『公の施設』ではない可能性が高いので、法的問題を解決されたい。

8-1 観光施設（観光プラザ管理運営事業）

【結果】廃止

廃止 4、民営化等 1、改善 2

- ・ 立地やスペース等を再考されたい。
- ・ カウンターが 2 箇所に分かれているため、人の配置などの無駄が多い。
- ・ 役目を果たしていない。
- ・ 現行のままでは高い費用対効果が見込めない。
- ・ 事業を廃止し、看板設置など必要最低限の代替措置で対応すべきである。
- ・ 現行のままでは観光プラザの必要性は感じられない。陶磁器会館と統合し運用する方がいいのではないか。
- ・ 位置が良くない。
- ・ ギャラリーは陶磁器会館に置き、観光案内所はもっと目立つ場所（改札付近等）に縮小して配置されたい。
- ・ 継続するならば、物産市場として地元の農産物、お土産品を販売し、収益を上げられたい。
- ・ 常滑駅前のような地価の高い場所では面積を縮小して実施されたい。

8-2 観光施設（登窯広場管理運営事業）

【結果】改善

民営化等 2、改善 3、継続 2

- ・ 3 億円という巨額な投資が観光振興に役立っているかが疑問。
- ・ 周辺を整備して飲食ショップを呼んで集客して欲しい。
- ・ 他の散歩道内の施設と一体的な管理運営を。
- ・ やきもの散歩道沿いの施設は一括して指定管理した方がいいと思う。
- ・ 貸しスペース、陶芸教室などがあるならいろいろなアイデアで展開できそう。
- ・ 散歩道全体を観光 PR すべく民営化して、集客に積極的に取り組んでいく事を望む。
- ・ 現在のままで継続

8-3 観光施設（廻船問屋瀧田家管理運営事業）

【結果】 民営化等

民営化等 3、改善 2、継続 2

- ・ 民営化により柔軟な対応ができそう。
- ・ せつかくのすばらしい建物なので、民営化する事で有効活用・展開して欲しい。
- ・ 指定管理者のしびりをゆるめる方向で。民間の自由な発想を存分に取り入れるべきである。
- ・ 自治体のアイデアにとどまらず、広く一般から運営のアイデアを募る方がよい。
- ・ 入場料無料とし、庭内で飲食を提供する（店は観光協会会員と相談して順番に出す）。

9-1 消防出張所（消防署北出張所管理事業）

【結果】 改善

廃止 1、改善 4、継続 2

- ・ 本署を充実させて、北出張所は廃止されたい。
- ・ 消防広域化の検討の中で、他市町村と協議し、再配置を検討すべきである。
- ・ コスト意識が低過ぎる。
- ・ 出動件数に合わせた出勤体制にする。夜勤は無くすることができる。7人体制にできるのではないか。
- ・ 統廃合や合理化を検討されたい。

9-2 消防出張所（消防署南出張所管理事業）

【結果】 改善

廃止 1、改善 4、継続 2

- ・ 消防広域化、他市町との協議の中で再配置を検討されたい。
- ・ 類似団体と比較して、職員数も施設数も多い。合理化・統合を検討されたい。
- ・ コスト意識が低過ぎる。
- ・ 出動件数に合わせた出勤体制にする。夜勤は無くすることができる。7人体制にできるのではないか。
- ・ 本署を充実させて、南出張所を廃止されたい。

9-3 消防出張所（消防署空港出張所管理事業）

【結果】 廃止

廃止 4、改善 3

- ・ コスト意識が低過ぎる。
- ・ 類似団体と比較して、職員数も施設数も多い。合理化・統合を検討されたい。
- ・ 本署を充実させ、最小限の人員で対応されたい。

- ・ 本署の移設に合わせ、空港出張所の機能を集約し、本署と2出張所の体制とされたい（北と南の出張所は継続）。
- ・ 廃止し、本署で対応されたい（2件）。
- ・ 空港(株)の消防力との連携が必要である。

10 図書館（本館・分館）（図書館管理運営事業）

【結果】改善

改善7

- ・ 基本的な運営方法を見直すべきである。
- ・ 指定管理者制度の悪い部分が出ている。
- ・ 3分館を廃止し、本館に機能を集約する（5件）。
- ・ 公民館等で本の申し込みや受け渡しをする。
- ・ 距離が近い青海と鬼崎は即統合する（2件）。
- ・ IT化によりi-padを活用する。
- ・ 財政が健全化するまで分館を休館とする。

11 公民館（公民館管理運営事業）

【改善】

廃止1、民営化等1、改善5

- ・ 他に利用できる箱モノはいくらでもある。
- ・ 20-40%の稼働率のために必要不可欠な施設とは考えられない。
- ・ 半田市でも昔は証明書が公民館でも出せていたが、今は市役所だけになっている。常滑市も同じにすることで、図書館も含めて全て同じ人が行えるので人件費が少なくできる。
- ・ 地域や町内、観光協会などに委託するならばベスト。
- ・ 青海に鬼崎を統合し、鬼崎の利用者は青海と中央を利用する。
- ・ 4館ある公民館を2館に統合してはどうか。少なくなった分は地域のコミュニティホールや公会堂を利用してはどうか。
- ・ エレベーターのある中央公民館は残し、あとの3公民館を1公民館に、全体で半減させる。貸し館は地区の会館を利用すれば補完される。
- ・ 使用料を上げる。
- ・ 使いやすくして使用（利用）増を図る。
- ・ 終了時間など制約が多すぎる。
- ・ 最終的には民営化すべきである。
- ・ “Public Private Partnership” 市民との共存・協働によるまちづくりを公民館事業で具体的に実施し、結果として行政改革につながるまちづくりを早急に導入する。

1.2 市民文化会館（市民文化会館管理運営事業）

【結果】廃止

廃止6、改善1

- ・ 金・土・日曜日のみの開館とする。
- ・ 文化向上のため、小規模でも開館されたい。
- ・ 巨費を投じて維持し続けることと、代替施設の存在を勘案すると、廃止が妥当である。
- ・ 財政が健全化するまで、閉鎖されたい（2件）。
- ・ まず閉館し、他施設を有効活用されたい。再スタートは大規模改修の財源見込み等を考慮した上で判断されたい。
- ・ 維持費が高過ぎる。他市の施設を利用し、アクセスを補助する方向に転換されたい。
- ・ セントレアホールを使用し、市がその使用料の補助金を出す。
- ・ 売却する。競艇場が買い取ることはできないか。

1.3 敬老会（敬老会開催事業）

【結果】廃止

廃止4、改善3

- ・ どうしても実施すべき事業とは言えない。
- ・ 大きく実施方法を転換するか、廃止して違う方策を検討する必要がある。
- ・ 実施方法に無理がある。敬老の在り方を考えるべきである。
- ・ 事業の目的を達成するためには、他にもっと良い方法があると考えられる。
- ・ 経費は20%削減し、もっと行政が介入して現状に見合った行事とすべきである。
- ・ 将来的には廃止すべきだが、現時点では老人クラブの自主事業として縮小すべきではないか。

1.4 市民運動会（市民運動会開催事業）

【結果】民営化等

廃止2、民営化4、継続1

- ・ 少しでも事業費カットできるのか。
- ・ 運動会は必要だと思う。住民間の交流が必要だと思う。
- ・ 市主体ではなく、市民主体の運動会にすべき。
- ・ 地域の特性を生かす。
- ・ 市から市民主催とし、続けていければと思います。
- ・ 市民主体の事業とすべき。内容も。
- ・ 開催の是非も含めて、各地区の主体的判断に委ねるべき。
- ・ 市補助は最小限のものに減額。

- ・ 市民・体協主催のものに変更。
- ・ 小学校の運動会に市民（地域の高齢者を招く）などの形に変える。
- ・ 行政からは離す。

1 5 市交通安全推進協議会（市交通安全推進協議会補助事業）

【結果】改善

廃止 2、改善 5

- ・ 団体の収支を正確に把握されたい。
- ・ 活動の実態がよく分からない。
- ・ 市子どもを守る会の補助金を半額に減額されたい。市交通安全推進協議会の啓発費を大幅に減額されたい。
- ・ 組織を見直されたい。
- ・ 予算の大幅な見直しにより、減額されたい。
- ・ 市子どもを守る会は、子ども達を守る活動に専念したシンプルな活動内容に転換すれば、入会者が増加する。
- ・ 協力者や活動者への心付けや場の提供が不要だとは思わないが、50年にわたる事業実施の成果の検証は厳しく行うべきである。
- ・ 補助額を20%削減されたい。
- ・ 交通指導員と合わせて予算編成されたい。
- ・ 現在の財政状況下では、不要である。他団体に任せるべきである。
- ・ 補助金を廃止し、自助、互助で対応されたい。

1 6 市遺族連合会（市遺族連合会補助事業）

【結果】改善

廃止 1、改善 6

- ・ 補助額の妥当性をよく検討し、団体補助から事業費補助に切り替えられたい（3件）。
- ・ 市民に合理的な説明ができる補助事業に改善すべきである。
- ・ 補助金の目的が不透明である。
- ・ 補助額を50%削減すべきである。
- ・ 適正な補助額にすべきである。
- ・ 補助金を支出するに相応しい事業とは思えない。補助金が適切に使われているとは思えない。

1 7 市農業振興祭（市農業振興祭補助事業）

【結果】改善

廃止 3、改善 4

- ・ 違う方法で名産品をPRすべきである。

- ・ イベントはJA等に任せた方がいい（2件）。
- ・ JAの自主事業として開催し、市は場所を提供するという立場でいい。
- ・ PR活動費のみに削減できないか。
- ・ 予算を20%削減すべきである。
- ・ 収益を事業の運営費として使用されたい（2件）。
- ・ 参加者の負担金や協賛金等を検討し、補助金を減額されたい。

18 常滑焼まつり協賛会（常滑焼まつり協賛会補助事業）

【結果】改善

改善 7

- ・ 補助金を20%削減されたい。
- ・ 団体のメンバー構成が不明である他、事業をどのように工夫しているのかが分からない。
- ・ 補助金を減額されたい（焼物製造・販売業者の努力によって開催されるべき行事だと考えられるので、PR費用を含め、収益金を事業費に充てるべきである。）。
- ・ 補助金を30%減額されたい（宣伝費用の用途は、民間のノウハウに学び、より少ない額でより効果のある手法を検討すべきである。）。
- ・ 事業内容を再検討し、補助金の減額が必要かもしれない。
- ・ 『常滑焼まつり』の開催目的の明確化及びその効果の検証を行い、それらを踏まえてまつりの見直しを実施されたい。
- ・ 『常滑焼まつり』を感謝祭ではなく、地域活性化を目的とした行事と捉え、在り方を再考すべきである。

19 市体育協会（市体育協会補助事業）

【結果】改善

改善6、継続1

- ・ 「団体補助」から「事業補助」へ検討すべきである。
- ・ とても立派な総会資料ですが、事務費は削減できるのでは？
- ・ 各競技については、大人からは参加賞をしっかりといただき、小学生、中学生への支援に重点を置かれたい。
- ・ 財政難のおり、減額の工夫をすべきである。
- ・ 少しでも事業費削減できそう。
- ・ 財政難の折、補助金カットで努力する。
- ・ 市民運動会は廃止し、委託料がなくなるので補助金の中で実施する。
- ・ 補助金は減らしていく。